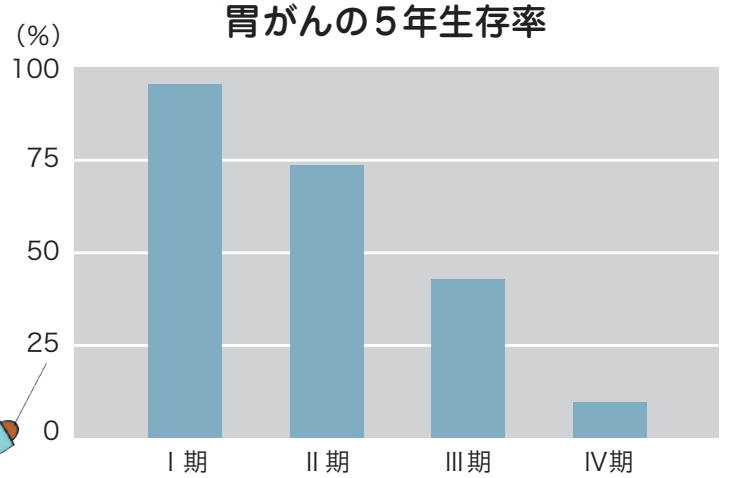
がんを早く見つけよう!!

がんが怖いのはなぜ？

がんが怖いのは、なぜなんだろう？

そうだね、それは、がんという病気の性質に関係があるんだよ。
がんは、できはじめの小さい時期には、自覚症状がほとんどなく、見つけにくい病気なんだ。自覚症状が出てからの治療は、がんが大きくなったり、広がっているぶん難しいし、治療の選択肢が少なくなってしまうこともあるんだよ。
だから、発見が遅れると、治る確率が下がる、つまり、発見の遅れが死につながってしまうということなんだ。
がんが怖い理由は、早く見つけて早く治療しないと、がんで死んでしまう確率が高くなるから、といえるよね。



国立がんセンター『がん情報サービス』より

早期発見・早期治療

がんは早期発見・早期治療が大切、とよく聞くけど、それは本当なの？

そうなんだ。左ページの図は、胃がんの５年生存率のグラフなんだよ。

５年生存率というのは、がんに対する初めての治療から５年後に生存している患者さんの比率のことを言うんだ。５年後に生存していれば、がんはほぼ治ったと考えていいんだよ。
Ⅰ期というのは、がんの初期の段階を示していて、自覚症状のない非常に初期の段階でがんが見つかった患者さんの生存率を表しているんだよ。Ⅱ期、Ⅲ期と、治療開始時点におけるがんの進行段階が進むにつれて、５年生存率は下がってるよね。

へえー。確かに、このグラフを見ると、がんを初期の段階で治療すればするほど、生存率が高いということがわかるね。

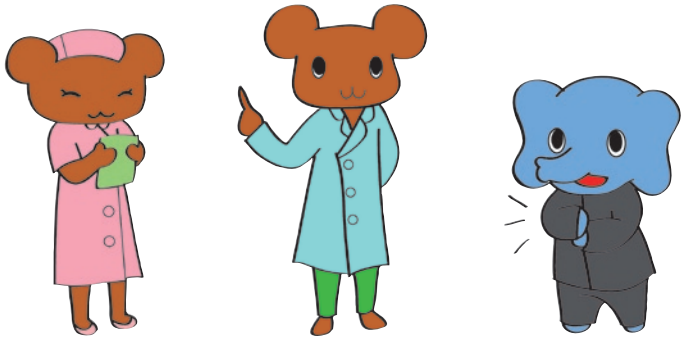
そうだよ！だから、がんは早期発見・早期治療が大切だといわれているんだよ。早期発見・早期治療によって５年後やその先でも、勉強や仕事をしたり、趣味を楽しんだり、家族とともに笑顔で生活していくことができるんだね。

検診を受けよう!!

自分のため、そして家族のため…

- がん検診か…。自分の体を守るために検診を受けないといけないってこと？
- そのとおり!!まずは自分の体を守ることが大切だよね。でも、それだけかな？
- 自分の体を守るだけじゃないの？
- うん、そうなんだよ。人って1人で生きているわけではないでしょ。ぞうじ君にとって大切な人って誰？
- え〜〜〜っと、家族とか、学校の友達とか、恋人かな…。
- うんうん。みんな、誰にも大切な人がいるでしょ。それは、裏返せば、ぞうじ君も誰かにとって大切な1人ってことだよ。
- うん、そうだね。
- そう考えると、自分の体って自分だけのものじゃないってことわかる？
- うん。誰かが病気になると、悲しむ人が必ずいるってことだよね。

- それに、家族の1人が病気になると、みんなの生活が変わってしまうことあるでしょ。
- あるある。お母さんが病気になった時、自分で家事をしないといけなくて大変だった。
- そういうことなんだよ。検診を受けて、自分の体を守ることは、自分のためだけじゃなくて、周りの大切な人たちのためでもあるんだ。わかった？
- わかったよ。でも、がん検診って時間がかかったり面倒じゃないのかな？
- そうだね、じゃあ、実際にがん検診ではどんなことをやるのか見学しに行こう！



がん検診について

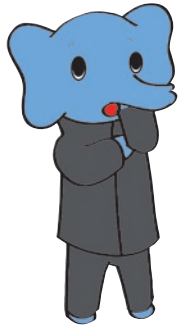
ぞうじ君と検診施設の見学に行ったよ〜♪

がん検診では一体どんなことをするのでしょうか。がん検診の実際を知るために、検診施設の見学に行ってきました。ご協力いただいたのは、「財団法人　兵庫県健康財団保健検診センター」です。ここでは、がんの定期検診のほか、人間ドックも行われています。

胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診については、検診機関や市町が実施する集団健診などで気軽に受けることができます。検診の結果、精密検査が必要とされたら、より詳しい検査を受けることになります。

見学させていただいた検診機器や施設の様子を参考に、がん検診の内容について学んでみましょう。

胃がん検診

対　象　者	40歳以上、男女
受 診 間 隔	年１回
おもな検査方法	胃エックス線検査
検査所用時間	５分程度

- 胃を膨らませる炭酸の粒とバリウムを飲んでから、検査台に乗ります。
- 検査台が動き、いろいろな方向からエックス線撮影が行われます。
- この検査では、胃がんのほかにも、胃にできたポリープや潰瘍を見つけることができます。
- 精密検査は、内視鏡（胃カメラ）を使って行います。
- 最近では、エックス線検査をしないで初めから内視鏡による検査をすることも多くなっています。